

今年から、日課表がかわり、月曜日の掃除の時間がなくなった。これまで水曜日も掃除がなかったので、阿下喜小学校は、火曜日・木曜日・金曜日の週3回が掃除の時間となっている▼お隣の中学校から阿下喜小学校の卒業生は、掃除が上手と聞いたことがある。掃除は、縦割り班で行っており、1年から6年生までの班が、週替わりで掃除場所が割り当てられる。きっとこの効果であろう。高学年が低学年にテキパキ指示をしながら率先して掃除を進めていく。低学年はそんな高学年の背中を見て育つ▼古いと汚いは違う。校舎は古いが綺麗である。物は所定の場所に整然と置かれている。校内で、スリッパを揃えましょう！とは聞いたことがない。阿下喜の子は掃除が上手と言われるのも納得できる。阿下喜の子どもたちが代々受け継いできた伝統だ▼5年生の美化委員が少なくなった掃除の回数をちょっと心配して、「お掃除大作戦」を展開しようとした。水曜日の20分休みに実施するようだ▼思い立った動機と目標が素晴らしい。「わたしたちの仕事は、学校をきれいにすることだよ」「わたしたちの行動がみんなにひろがるといい」▼決して校舎が汚れてきたからではない。むしろきれいに保ち続けるために手を抜かないという気持ちとそこにみんなを巻き込ませようとしている。まさに「勇気の連鎖」である。勇気の連鎖の原動力は、感情だ。